

地盤調査結果

■調査概要

調査件名	〇〇市〇〇町地内 グリーンテスト	調査日	平成29年1月1日
調査場所	〇〇市〇〇町123番	天候	晴れ
調査方法	スウェーデン式サウンディング試験	調査数量	5ヶ所(Sw-1~5)

■総合評価

調査地周辺は、自然堤防上に位置し、主に宅地として利用されています。地盤状況は、表層盛土下位に粘性土及び砂質土の堆積が確認され、貫入深度は最深でGL-10.00mまで計測されました。支持力は、盛土下位の粘性土層において、自沈を含む長期許容支持力換算 $q_a=30\text{kN/m}^2$ を下回る地盤状況が確認されました。上記を踏まえ、本調査データからは、今後の配置・構造によっては何らかの地盤補強(柱状改良・環境パイル工法等)が必要になると推察されます。尚、正式な基礎選定については、今後計画される建築構造・配置が確定したのちに再調査を実施し、設計士と協議のうえ進めて頂きますようお願い致します。

■調査結果

	低い	要検討	高い
不同沈下の可能性			
再調査の必要性			
対策工の必要性			

不同沈下の可能性： 建物荷重を木造二階程度と想定した場合での表記となります。

再調査の必要性： 建築の際には正式な建物構造規模と配置上での再調査が望ましい。

対策工の必要性： 建物荷重を木造二階程度と想定した場合での表記となります。



■推奨工法

	直接基礎	表層改良工法	柱状改良工法環境パイル工法	小口径鋼管工法	その他工法
想定される改良工法					

スウェーデン式サウンディング試験は、荷重による貫入と回転による貫入を併用した原位置試験であり、地盤の硬軟・締まり具合・土層構成を把握することを目的とする試験である。特徴として装置や操作が簡易で迅速な測定ができ、また簡易な試験方法の中では比較的貫入能力に優れているため、近年では戸建住宅などの小規模構造物の支持力特性を測定するための地盤調査方法の主体となっている。試験機は載荷、回転等の一連の操作の制御及び試験データの記録を自動化し、正確な調査を行なうことが可能となっている。(以下は参考写真)



スクリーポイント



試験機器



評価・検討する